

開講専攻	授業科目	担当教員	必修 選択 の別	単位数
看護学 ----- 3 Semester 金・4	免疫学	小林 光樹	必修	1
授業題目	生体防御のメカニズムを理解し、さらに病気との関連を知る			
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>免疫に関与する細胞や分子について理解し、さらにそれらの調節機構のはたらきについての知識を得る。</p> <p>生体防御のメカニズム、生体に有害な作用をもたらす過程と結果、ワクチン接種時の免疫の働き、臓器移植時における免疫の働き、自己免疫の仕組み、エイズなどの免疫不全の病態などについて、スライドやイラストを使用しながら、講義をすすめる。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生体の防御について理解する 2. 病気との関連を理解する 3. 免疫を担当する細胞や分子について理解する 				
授業計画				
回数	講義	内容	講師	
1	免疫系 概要	免疫を担う細胞や物質について	小林 光樹	
2	抗体、炎症に関わる物質	抗体蛋白の種類と抗原抗体反応、炎症の細胞に関与する物質	小林 光樹	
3	T細胞リセプターと抗原認識	Tリンパ球の抗原認識とMHC、細胞性免疫反応	小林 光樹	
4	免疫寛容と免疫応答の調節	免疫反応を起こしてはいけない場合とその調節	小林 光樹	
5	アレルギー反応と自己免疫	免疫寛容メカニズムの破綻と病的な免疫応答による疾患	小林 光樹	
6	ウイルスに対する免疫	ウイルス感染に対する生体防御反応	小林 光樹	
7	ワクチン、腫瘍や移植の免疫	特異的な免疫の誘導、腫瘍の免疫監視、移植に付随した免疫応答	小林 光樹	
8	原発性・続発性免疫不全症	免疫応答の低下にともなう体の状態	小林 光樹	
成績評価の方法及び基準				
期末試験により評価する				
教科書・参考書				
<p>「シンプル免疫学」著者：中島 泉，吉開 泰信，高橋 利忠（出版社：南江堂）</p> <p>参考書として、「免疫学イラストレーテッド」著者 Ivan Roitt ほか，翻訳 多田 富雄（南江堂）</p>				